

## ●教員養成の目標

[2024 年度から]

(子ども学科)

人間研究の幅広い視野に立って、乳幼児から子どもの成長や発達について理解を深め、子どもを取り巻く環境、さまざまな問題や文化状況を理解し、保護者や地域の人々とともに、子どもの健やかな生活・発達を援助できる専門性を身につけることを目指している。その能力を保育、幼稚園教育、社会福祉の分野で活かすことができる人材を養成する。

(子ども心理学科)

心理学の知見を基礎として、乳幼児期から成人期に至る長い期間の発達について理解を深め、そこで生じる諸問題への心理的教育的なアプローチの仕方を学び、心理的援助を必要とする人々や発達において困難を抱えた人々を理解し、支援できる能力を身につけることを目指している。その能力を、保育、幼稚園教育や心理臨床の分野で活かすことができる人材を養成する。

(教育学科)

子どもの成長・発達や子どもを取り巻く環境、多様化した学校教育の課題について理解を深め、初等教育・中等教育・特別支援教育における子どもの豊かな学びを実現するために必要な資質・能力を育成するための専門的な教育を行い、初等教育、中等教育ならびに特別支援教育の分野で活躍できる人材を養成する。

[2023 年度まで]

(子ども学科)

人間研究の幅広い視野に立って、乳幼児から学童期も含めた子どもの成長や発達について理解を深め、子どもを取り巻く環境、さまざまな問題や文化状況を理解し、保護者や地域の人々とともに、子どもの健やかな生活・発達を援助できる能力・技術を身につけることを目指している。その能力を保育、幼稚園教育、小学校教育、社会福祉の分野で活かすことができる人材を養成する。

(発達臨床学科)

心理学の知見を基礎として、乳幼児期から成人期に至る長い期間の発達について理解を深め、そこで生じる諸問題への心理的教育的なアプローチの仕方を学び、心理的援助を必要とする人々や発達において困難を抱えた人々を理解し、支援できる能力を身につけることを目指している。その能力を、保育、幼稚園教育や特別支援教育や心理臨床の分野で活かすことができる人材を養成する。